

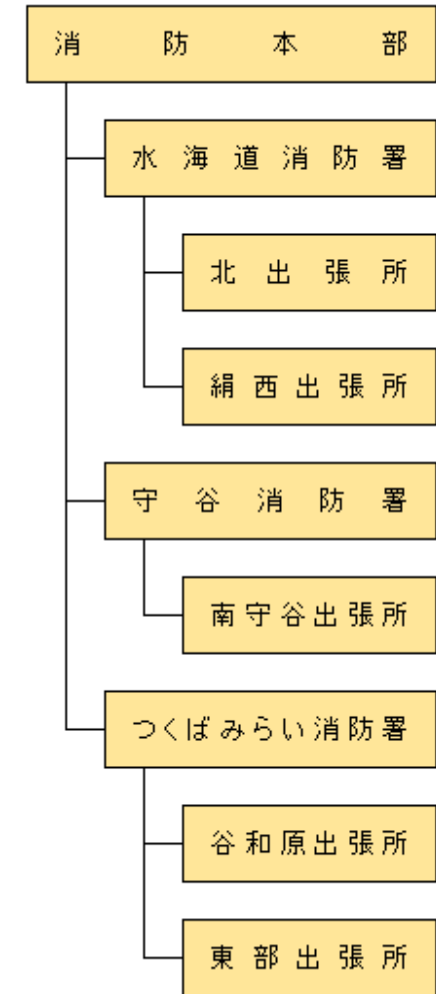
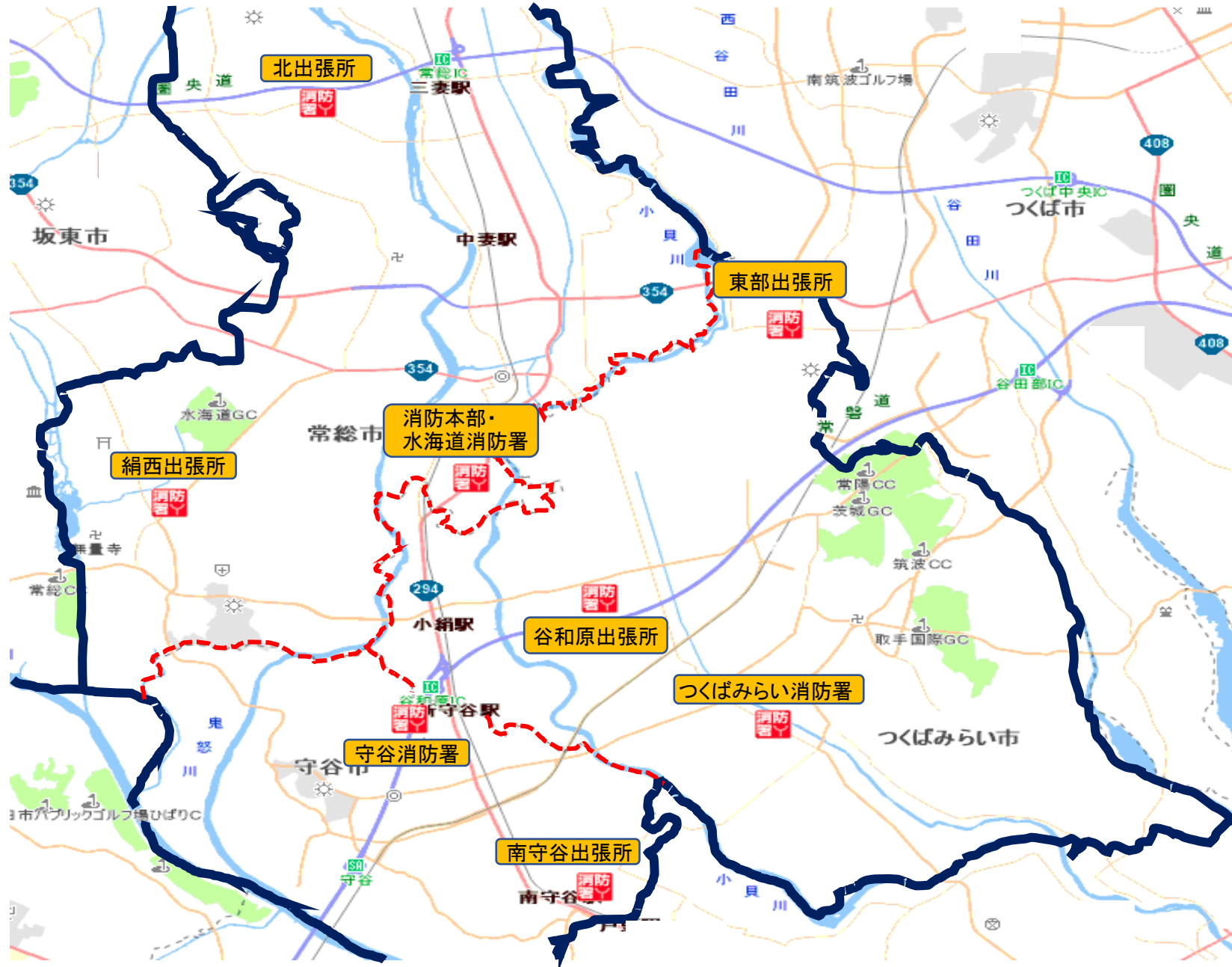
(仮称) みらい平消防署建設事業計画 住民説明会

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部

議事次第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 出席者紹介
4. 説 明
5. 質疑応答
6. 閉 会

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部（常総広域消防本部）の組織



職員数・・・260名
(令和5年3月現在)

説明

1. 事業の目的
2. 候補地の概要
3. 事業スケジュール
4. 統合による影響
5. 近隣への影響

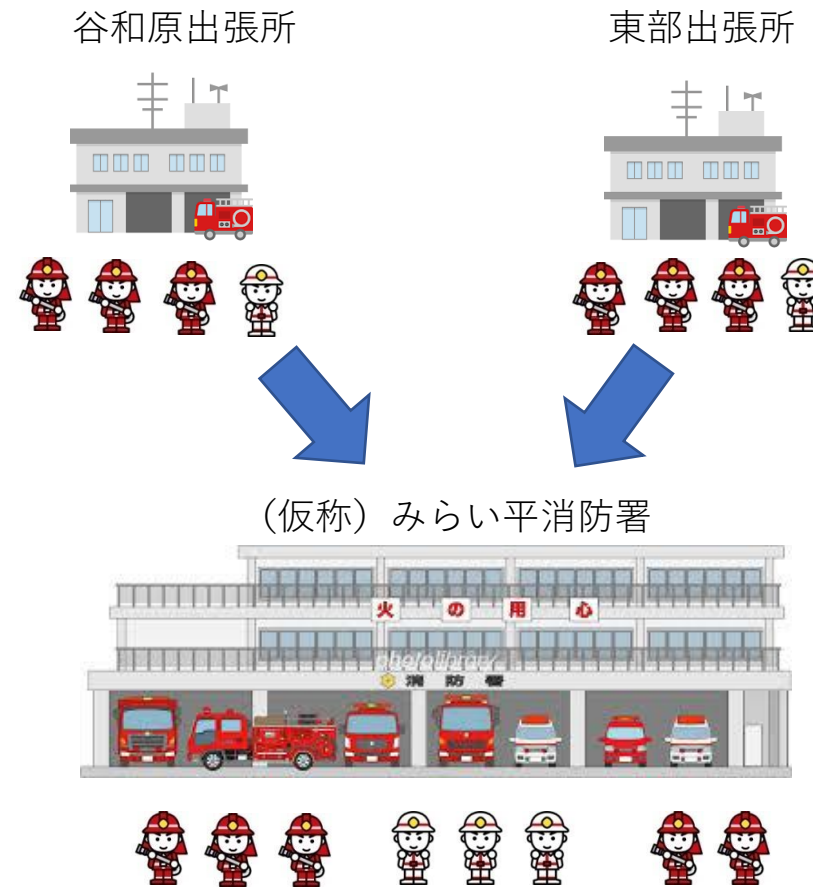
1. 事業の目的



消防力最適配置報告書より

1. 事業の目的

谷和原出張所と東部出張所を整理統合し、みらい平地区に（仮称）みらい平消防署を建設する。



2. 候補地の概要



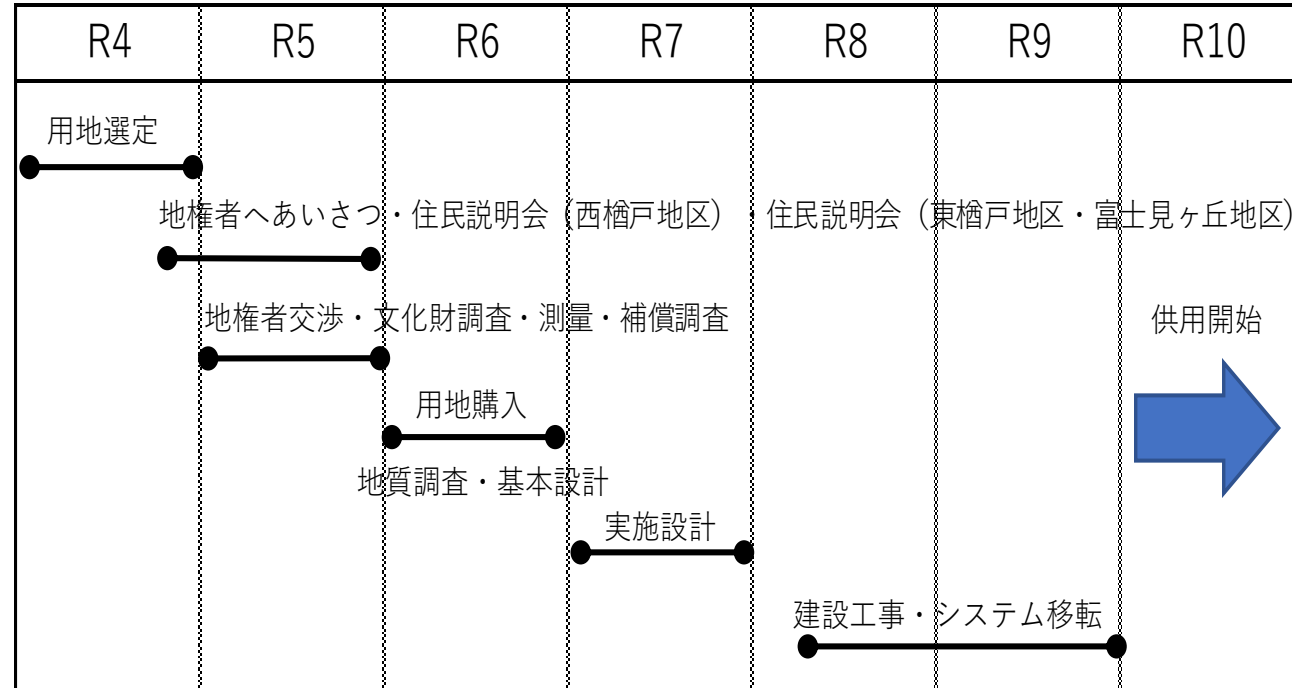
地番
つくばみらい市西檜戸2016-1他8筆

敷地面積
約7,200㎡



用途区域
用途区域に指定されない地域

3. 事業スケジュール



〈今後の予定〉

令和5年度

地権者交渉・文化財調査・測量・補償鑑定
住民説明会（東檜戸地区・富士見ヶ丘地区）

令和6年度

用地購入・地質調査・基本設計

令和7年度

実施設計

令和8～9年度

新庁舎建設工事・システム移転

令和10年4月

供用開始

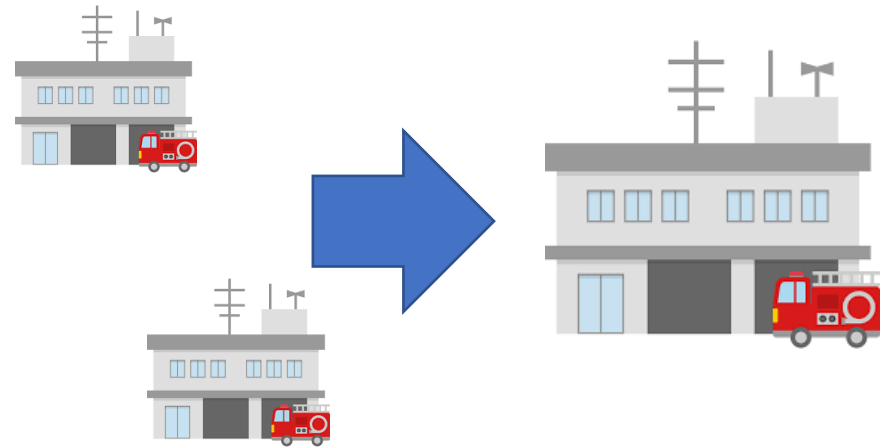
4. 統合による影響

Q 出張所統合によるメリットは？

A ①部隊の集約（複数隊が同時出動可能）

②運用車両の増加（兼務運用の解除）

③施設維持コストの削減



兼務運用

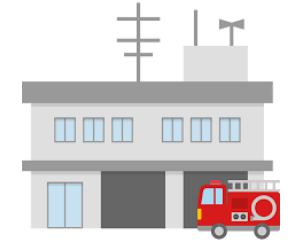
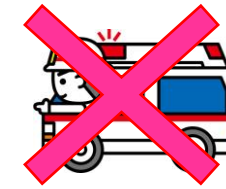
1 隊（最低3名）で2 車両を運用する。
出張所は、最低4名で勤務
消防車は最低3名、救急車は3名で運用

【メリット】

- ・火災、救急どちらの災害にも対応できる。（初回のみ）

【デメリット】

- ・どちらか1 車両のみしか運用できない。（重複災害に対応できない）
- ・非効率な車両の運用



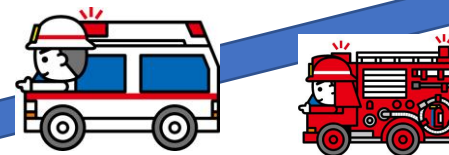
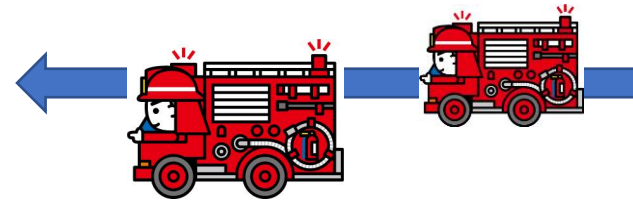
多隊運用

【メリット】

- ・重複災害に対応可能。
- ・災害種別に応じて出動車両の選択が可能。

【デメリット】

- ・人員の増員、施設の大規模化



PA連携：救急車と消防自動車が同時に出場すること



現在 (兼務運用)

別々の出張所から出場
現場に到着する時間にタイムラグが発生するため、救命処置に時間がかかる

(仮称) 未来平消防署 供用開始後 (多隊運用)

同じ消防署から出場
現場に到着する時間が同時のため、迅速な救命処置が可能となる

5. 近隣への影響

Q 近隣への配慮はどのように考えているのか？

A サイレンの吹鳴や訓練等の騒音については、できる限りの配慮をします。

しかしながら、業務の特性上ある程度の騒音が発生することは避けられませんので、住民の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。



5. 質疑・応答
